

しろいし 市議会だより

2020
夏
第198号



〔表紙写真〕

6月定例会は、議長席、答弁席、質問席に飛沫感染防止用のアクリル版を設置し、マスク着用による息苦しさを緩和したほか、1時間ごとに換気を行うなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止と暑さ対策に配慮し、開催されました。

- 2～3P 6月定例会の概要・審議した議案
- 4～5P 予算審査特別委員会・特別委員会報告
- 6～12P 市政に対する一般質問(12名)
- 12P 意見書・議案の賛否一覧
- 13P 5月臨時会の概要
- 14P 議案の賛否一覧・人事・議員表彰・編集後記



議会傍聴も席の間隔を空け、人数を12人までに制限して受け入れました。

6月定例会 一般会計補正予算など26議案を可決

令和2年6月定例会は、6月8日から6月19日までの12日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、条例17件、予算6件の計25件でした。定例会初日、第39号議案及び第40号議案が提案され、採決の結果、全会一致で同意しました。

2日目、第41号議案から第63号議案までの質疑が行われ、予算の6議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、6月17日と6月18日の2日間で、12名の議員が質問を行いました。定例会最終日（6月19日）の本会議において、委員長報告を行なった後、採決の結果、第58号議案から第63号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案1件（第64号議案）が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

同日、議員提案による議案5件（議提第2号から議提第6号）が上程され、提出議員による提案理由の説明を経て、議提第2号は全会一致で原案のとおり可決、残る4議案は質疑の後、採決の結果、賛成多数で可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市手数料条例の一部を改正する条例

デジタル手続法の一部施行に伴い、マイナンバー通知カードが廃止されたことから、通知カードの再交付に係る手数料の項目を削除するため、条例の一部を改正するものです。

◎白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(定例会最終日提案)

本市における新型コロナウイルス対策に係る各種施策の財源に充てるため、市長、副市長及び教育長の給料月額を本年7月から10月まで、市長においては10%、副市長及び教育長においては5%減額することから、条例の一部を改正するものです。

議案番号	件名	審議結果
第39号	市長提案 固定資産評価員の選任について	同意
第40号	農業委員会委員の任命について	同意
第41号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第42号	白石市債権管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第43号	白石市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第44号	白石市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
第45号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第46号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第47号	令和元年台風第19号による災害被害者に対する白石市市税等の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第48号	白石市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
第49号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による白石市国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例	原案可決
第50号	白石市農産物等販売施設条例	原案可決
第51号	白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第52号	白石市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第53号	白石市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第54号	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決

◎白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
(定例会最終日提案)

本市における新型コロナウイルス対策に係る各種施策の財源として活用していただくため、議員の報酬月額を本年7月から12月まで10%減額することを白石市議会として決定したことから、条例の一部を改正するものです。

予 算

◎令和2年度白石市一般会計
補正予算(第3号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ6億1千854万1千円追加し、予算総額を186億1千134万7千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○水道料金減免事業 7千万円

○新型コロナウイルス経済対策割増商品券事業 3千600万円

○小中学校学習用コンピュータ整備事業

小学校 9千742万7千円

中学校 3千728万8千円

本会議質疑より

◎白石市手数料条例の一部を改正する条例

〔質疑〕マイナンバー通知カードの発行が廃止されることにより、どのような不具合が生じるか伺う。

〔答弁〕紙製のマイナンバー通知カードが廃止されたことから、今後、再発行はできなくなるが、今お持ちの通知カードについては、氏名、住所などに変更がなく、記載事項が住民票と合っている場合は、引き続きマイナンバーを証明する書類として使用できる。

また今後、出生などで個人番号を新しく付番される場合には、通知カードに替えて「個人番号通知書」が発行されることとなるが、この通知書はマイナンバーを証明する書類としては使用できない。

前述の通知カード以外で、マイナンバーを証明するには、顔写真付きのマイナンバーカードの提示またはマイナンバーが記

載された住民票の写し、住民票記載事項証明書の提出で証明することができる。

◎令和2年度白石市一般会計
補正予算(第3号)

〔質疑〕本市独自の新型コロナウイルス経済対策として、水道料金減免事業と割増商品券事業の2つに決定した理由を伺う。

〔答弁〕国の新型コロナウイルス感染症等拡大防止に伴う外出自粛要請を受け、現在、生活費などの経済的負担の軽減や飲食店などへの支援が急務となっている。

このため、各家庭や各事業所などが行なっている感染予防対策に係る負担軽減のため、水道基本料金の5割を4か月減免することで、全市民及び全事業所を支援するとともに、アフターコロナを見据え、割増し商品券により消費の喚起を図ることで、市民だけでなく事業者にも支援が行きわたると判断したことから、この2事業に決定した。

第55号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
第56号	白石市児童館条例	原案可決
第57号	白石市放課後児童クラブ条例	原案可決
第58号	令和2年度白石市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
第59号	令和2年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第60号	令和2年度白石市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第61号	令和2年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第62号	令和2年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第63号	令和2年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第64号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第2号	議員提案 白石市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第3号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書	原案可決
第4号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	原案可決
第5号	介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書	原案可決
第6号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	原案可決

〔質疑〕商品券について、2割増し以外のプレミアム率は検討されなかったのか伺う。

〔答弁〕3割増しや5割増しなど、ほかのプレミアム率についての検討も行なったが、今回の率に決定した。

新型コロナウイルス経済対策

予算審査特別委員会

第58号議案・令和2年度白石市一般会計補正予算(第3号)から第63号議案・令和2年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)までの計6議案について、定例会2日目(6月10日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・大野栄光、副委員長・森建人)は、6月11日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第3号)

総務費

〔質疑〕白石市地域おこし協力隊起業支援補助金として100万円が計上されているが、この内容を伺う。

〔答弁〕今年度で任期終了となる地域おこし協力隊員が、市内で起業する準備をしていることから、それに要する経費について助成するものである。

現在の予定では、自宅の一部を陶器ギャラリーとして整備し、陶器の製造販売に取り組みとともに、イベントなどへの出店、陶芸教室の開催、地域の他業種との連携や地域資源を活用した商品開発などに取り組み計画となっている。

また、単なる商品販売だけではなく、地域おこし協力隊としてのこれまでの活動や人脈を生かし、地域活性化の活動にも取り組んでいく計画である。

〔質疑〕ふるさと納税業務委託料674万3千円が計上されている

が、この内容を伺う。

〔答弁〕ふるさと納税寄附制度の利用者の多くは、確定申告もしくは寄附金税額控除に係る申告特例申請(ワンストップ特例申請)を行なっているが、令和元年度はワンストップ特例申請が全体の約3割、1万5千件に達した。

この申請に対し、1月末までに各住所地へ納税状況を報告する必要があったことから、令和元年度はこれらの事務処理を全庁的な対応で行なったが、今後は、業務の効率化を図り、各種事業を展開することで、さらなる受納額の増加を図っていくため、ワンストップ特例申請の事務委託に係る経費を計上したものである。

〔質疑〕本市のふるさと納税については寄附額が増えていると聞くが、現在のどのぐらいの額なのか伺う。

〔答弁〕令和2年4月については2千189件、2千250万1千円の寄附金収入となっている。昨年の4月については552件、597万9千円であったことから、昨年度よりも増額となっている。

商工費

〔質疑〕ZAO関係市町連携インバウンドプロモーション事業委託料については、本市と山形市、上山市、蔵王町、七ヶ宿町及び川崎町の3市3町の連携により、プロモーション強化事業、受入れ環境整備事業、滞在コンテンツ充実強化事業を計画していくとのことだが、今年度の事業の方向性を伺う。

〔答弁〕本事業は、国から新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるものについては中止、または東北観光復興対策交付金の交付決定額の範囲内であれば、内容の変更が可能であることが示された。

このことにより、例えばプロモーション事業として海外に行くことが難しい場合は、オンラインの商談会に変える、また、受入れ環境整備事業として看板の整備などに予算を充てるなどの変更が可能となったことから、今後は新型コロナウイルス

感染症拡大の動向を見ながら内容を検討していく。

土木費

〔質疑〕中河原白石沖線街路事業の物件移転補償金として3億2千768万2千円が計上されているが、移転補償の進捗状況について伺う。

〔答弁〕5月から買収を開始したため、5月末での契約の進捗状況は全体の買収事業の10.5%となっているが、地権者との交渉は大体済んでいることから、これから順次契約を進め、買収が済んだところから工事に着手していく。

〔質疑〕中河原白石沖線街路事業の規模について伺う。

〔答弁〕本事業については、延長が458メートル、全体の事業費は12億6千442万6千円という事業規模となっており、令和5年度の完成を目指していることである。

教育費

〔質疑〕小中学校学習用コンピュータ整備業務委託料が計上されているが、内容とスケジュールについて伺う。

〔答弁〕新型コロナウィルス感染症緊急経済対策において、GIGAスクール構想として令和5年までに達成することとされている児童・生徒一人1台端末の整備スケジュールの加速・前倒しや、家庭学習のための通信機器整備支援、学校からの遠隔学習機能の強化の方針が示された。

このことから、本市においても児童・生徒が利用する学習用コンピュータなどを整備する費用として、予算計上したものである。

また、今後のスケジュールについては、現在進めている各学校のネットワーク環境施設整備事業の進捗状況にもよるが、本格的な稼働は10月頃になると考えている。

なお、パソコンの納入は来年2月末頃の見込みである。

〔質疑〕Wi-Fi(無線ネットワーク接続機器)関連も小中学校に整備することだが、この機器は新型コロナウィルス感染症防止として児童・生徒の自宅でもリモートとして使用するものなのか、それとも校内で使用するものなのか伺う。

〔答弁〕児童・生徒の各家庭に貸し出しているようなWi-Fi機器を購入する予定としている。

◎令和2年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

〔質疑〕新たに創設された新型コロナウィルス感染症に係る傷病手当金として99万円が計上されているが、第2波、第3波が予測されている中、この額で足りるのか。

〔答弁〕この傷病手当金は、国民健康保険の被保険者で、給与の支給を受ける被用者が新型コロナウィルス感染症に感染または感染が疑われるときに、療養のため労務に服することができなくなった期間の一部

について支給するものであるが、現在における対象者は少ないと考えていることから、一人6万6千円の15人分として見込んだ。

ンターチェンジの事業化に向けて、道における救急医療搬送等の現状について報告を受け、今後の進め方について協議を行った。はじめに、当局よりこれまでの取り組みと検討経過について報告があり、昨年9月27日に「(仮称)白石中央スマートインターチェンジの準備段階調査への採択」が国土交通省より発表されたことを受け、11月に「第1回(仮称)白石中央スマートインターチェンジ準備会」を開催した以降、今年3月までに計3回の準備会を開催し、関係機関との協議を進め、スマートインターチェンジの位置・構造、管理運営形態、期待される効果、利用促進方策など、実施計画書に記載する内容について検討を進めてきた旨の報告があった。

スマートインターチェンジ設置推進特別委員会中間報告

- 委員長 四電 英夫
- 副委員長 大野 栄光
- 委員 大森 貴之・伊藤 勝美
- 保科 善郎・佐久間 儀郎
- 菊地 忠久・松野 久郎

定例会初日(6月8日)、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四電英夫委員長より中間報告がなされました。

報告の概要については、次のとおりです。

令和2年5月18日に関係部課長の出席を得て、スマートイ

準備会で確認された「期待される主な効果」として、「物流の効率化による企業支援と新規企業誘致による地域活性化」「白石市中心市街地の賑わい創出」「新たな周遊観光ルート形成による観光振興」「東北

市政に 対する 一般質問

12名の議員が質問

6月定例会の一般質問は、6月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

伊藤 勝美	新型コロナウイルス感染症対策等について	他
角張 一郎	小中学校の統合・再編について	他
松野 久郎	おくやみ手続き一本化について	他
大野 栄光	公立刈田総合病院について	他
佐藤 秀行	福岡歩道橋について	他
高子 秀明	新型コロナウイルス感染症の状況下における本市の災害時避難所対策について	他
高橋 鈍齋	第一幼稚園休園凍結問題、その後について	他
菊地 忠久	子どもの安心安全について	他
佐藤 龍彦	コロナ禍での本市の教育について	他
四竈 英夫	新型コロナウイルス対策について	他
大森 貴之	夏季休業中のプールについて	他
佐久間儀郎	新型コロナウイルス感染症予防と災害時の避難所について	他

新型コロナウイルス感染症対策等について



伊藤 勝美

〔質問〕感染症の第2波、第3波が予想されていることから、実施できる対策を速やかに講じる必要があるが、また、今後の施策展開においても、経済、教育、福祉や子育てなどのあらゆる面で影響が大きく出てくると考えられる。

この感染症により中止・休止となったイベント・事業における不用品となった額を伺う。

〔答弁〕〔財政課長〕現時点で把握している一般財源の不用額は、約1千800万円と見込んでいる。

〔質問〕市民の生活を優先するため、不要不急の事業を延期する検討はされているのか。また、経済支援など

の財源確保のため、今年度の全事業を精査し、延期・中止する事業の予算の組み替えが必要と考えるが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕中止・休止が決定した事業以外で不要不急の事業は現時点ではないと認識していることから、全庁的な検討は行っていない。

〔質問〕感染症対策で市の財政が厳しさを増す中、今後の財政見通しの予測を伺う。

〔答弁〕〔市長〕各施設各種使用料の減収による歳入の減、指定管理者に係る歳出の増などの要因が考えられ、財政は厳しさを増すものと考えている。

また、経済が冷え込んでいる現状では、自主財源の減少も懸念され、非常に厳しい来年度の予算編成になるものと

認識している。

〔質問〕市内の医療機関の状況はどのように把握されているのか。地域医療を守るための財政支援を国に求めるべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕外出自粛要請や感染警戒で受診者が控えられ、全国的に外来受診者が減っていることは承知しているが、市内医療機関の経営状況については、相談などは受けていないことから把握はしていない。

財政支援策については、国の責任において早急に打ち出していたたくことを市長会を通して国に働きかけていく考えである。

その他の質問

◎山田市政1期4年間の総括について

◎公立刈田総合病院について

小中学校の統合・再編について

角張 一郎



〔質問〕学校の統合・再編について、教育委員会ではどのような議論をしているか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕平成27年2月の「白石市小中学校在り方検討委員会」の答申によると、10年後（令和7年度）は1学年あたり250名くらいで推移すると見込んでいた。

また、学校規模は、小中学校は複式学級にならない規模、中学校はクラス替えが可能な規模であることと答申されているが、実際の出生者数は、昨年度は135名と予測の約半分というところまで少子化が急速に進行している。

教育委員会として、

具体的な進め方、再編などの結論にはまだ至っていないが、小中学校の統合、あるいは学区の再編も含め議論を進めており、今後とも議論を進めていきたいと考えている。

〔質問〕学校の統合・再編について、市長の所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕小・中学校の統合・再編については、教育委員会での議論の過程も含めて注視していきたい。

学校の主役は子どもたちであると思っており、子どもたちが将来の夢や希望をかなえる環境づくりが非常に重要であると考えている。

〔質問〕学校の統合・再編について、今後の進め方を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕学校の統廃合というのは大変

難しい問題であり、地域、保護者の皆さんの理解なくして進めることはできない。

また、子どもたちにとってどのような学習環境が良いのかということとは最大の課題である。

少子化という将来のことも含め、本市の教育のあり方について、今後、どのような形で統廃合問題に取り組んでいくのかを教育委員会として検討していきたい。

〔質問〕小中一貫校について所見を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小中一貫校の特色として、9年間一貫的な体系で継続的な教育が可能であるという最大のメリット

があり、本市の統合・再編については、小中一貫校という形も有力な選択肢の一つであると考えている。

おくやみ手続き一本化について

松野 久郎



〔質問〕高齢化の進展や世帯構成、家族構成の変化により、遺族が行う死亡・相続に伴う手続きの負担は一層増加している。

別々の窓口での手続きがワンストップでできる窓口の新設を要望するが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕現在、手

続きの多くは、庁舎1階の市民課・総合案内・税務課と健康センター1階の健康推進課で済むようになっている。また、高齢者など歩くことが困難な場合は、各課の担当者が市民課窓口に出向いて対応しており、広い意味でのワンストップサービスと捉えている。

亡くなられた方が受

けていたサービスによっては、担当窓口で手続きをしていた場合もあるが、ご理解をいただきたい。

〔質問〕もう一歩進んだ一本化の窓口を新設する考えはあるのか。

〔答弁〕〔市長〕可能な限り分かりやすく手続きが取れるよう、スムーズな案内をさせていただくことが、現在、本市でできるワンストップと考えている。

◎農山漁村再生可能エネルギー法活用について

〔質問〕本市の豊かな自然環境、景観の保全、防災や自主財源の確保などメリットが大きいこの取り組みを要望するが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕自然環境の保全など、さまざまな

観点を踏まえ、庁内の関係する各課で計画の策定、協議会を設置するための検討を行なっていくきたい。

◎スパシユランドについて

〔質問〕市長は2021年3月末での休館を提示する一方、存続させるための方策を検討することであったが、これまでの検討状況を伺う。

〔答弁〕〔市長〕国の補助金活用や民間への営業譲渡の可能性について取り組んできたが、具体的な話とはなっていない。

また、オリンピックパラリンピックが1年延長となったことから、練習施設として休館を1年間延長し、通常の営業状態を継続したいと考えている。

その他の質問

◎市民の命と健康を守る公立刈田総合病院について

◎多発する風水害の防災、減災対策について

公立刈田総合病院について

大野 栄光



された時、刈田病院の情勢をどのように把握されていたのか伺う。

〔質問〕これまで刈田病院問題は、市議会での審議はタブー視され、病院議会だけの議論とされてきたが、今回、二度にわたる議員との懇談会により、市長から喫緊の行き詰まった病院経営について詳細な説明を受けた。

他方、厚生労働省は、刈田総合病院とみやぎ県南中核病院を重点支援区域に指定することで機能の再編・統合を促し、国は優先的に財政支援するほか、厚生労働省職員が直接助言し、再編のモデルケースとしたとの新聞報道があった。
市長は、4年前就任

なものであり、着実に進めていくと同時に、刈田病院内部の改革を進めるため、あらゆる方策をとっていく必要があると考える。

また、就任時には平成29年度の繰出金として約16億円を予算計上することが決まっており、地域医療を守るためとはいえ、多額の繰り出しは市の財政に大きな影響を及ぼすのではないかと危惧していた。

〔質問〕市長は公設民営の持論をお持ちだが、どのような構想なのか。
〔答弁〕市長「中核病院との連携プランは必要

福岡歩道橋について

佐藤 秀行



福岡歩道橋については、児童・生徒が安心して登下校できるよう、安全面に配慮しながらの補修、修繕など早急な対応が必要と考える。

今後どのように維持管理されるのか、また、これまでの工事の進捗状況と今後の対応について伺う。

〔答弁〕市長「老朽化による劣化が著しいことから、管理者である宮城県に対し、早期の補修工事着手について要望してきた。
令和元年度に測量設計業務を実施、令和2年度の工事完成に向け、工事発注の手続きを行

いと考えており、その際は、退職された先生方にもぜひご活躍いただければと考える。

なっている。契約が整い次第、関係者との協議を進め、順調に進めば8月頃から工事着手予定である。
◎今後の学校教育について

〔質問〕新型コロナウイルス感染拡大の防止対策によって学校現場が多忙化している。学習の遅れを取り戻すため、補習を行う学習指導員として教員の再雇用を行うことについて、どのように考えているか。

〔答弁〕教育長「教育体制の緊急整備として文部科学省から出された学びの保障総合対策パッケージによって、人的体制の整備が行われようとしている。
本市としては、この制度を積極的に活用した

〔質問〕マスクをしながら長時間授業を行うことについて、特に小学校の先生は、連続して授業を行うことが多いことから、精神的にも肉体的にも負担が大きいと考える。
そんな中、口元の温度上昇を抑え、蒸れと息苦しさを緩和したマスクの発売が予定されている。そのようなマスクの購入を検討しているかどうか、見解を伺う。

〔答弁〕教育長「気温の上昇とともに、マスクをすることによる感染症の予防対策と熱中症対策は教育委員会としても大変懸念している。
国からの補助金を有効に活用する際に、多機能なマスクについても、各学校に呼びかけて、購入などを働きかけていきたい。

新型コロナウイルス感染症の状況下 における本市の災害時避難所対策 について

高子 秀明



い。

〔質問〕感染症対策を盛り込んだ「避難所マニュアル」策定の進捗状況について、また、本市独自の対策が検討されているか伺う。

〔質問〕高齢者や障害者などの避難の実効性の確保に向けた取り組みについて、内閣府と消防庁から通知がきている。福祉避難所について協定を結んでいる白石市福祉施設連絡協議会などに、昨年の台風19号以降、改めて何らかの協力依頼や説明、協議を行なっているか。

今後もし引き続き、高齢者や障害者などの避難の実効性を確保するため、災害時における避難行動要支援者の受入れなどの協力に関する協定に基づき、受入可能状況を把握の上、協力をお願いしていく。

〔質問〕避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、特に支援を要すると定義されている避難行動要支援者について、有事の際の「避難行動要支援者名簿」の活用方法を伺う。

〔質問〕保健福祉部長「令和2年1月29日に、白石市福祉施設連絡協議会施設長会議を開催し、3月には福祉施設職員と白石市社会福祉協議会職員などを対象に「令和元年台風19号の経験から」と題した研修会を開催する予定であったが、感染症拡大防止のため、開催を見送った。

〔質問〕避難所が困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、特に支援を要すると定義されている避難行動要支援者名簿の活用方法を伺う。

第一幼稚園休園凍結問題、その後について

高橋 鈍齋



い。

〔質問〕第一幼稚園次年度休園凍結の結論はいつ出るのか。

〔質問〕送迎における駐車場など日常的な利便性も考慮し審議してほしいが、いかがか。

〔質問〕特別定額給付金と新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金について

子どもの安心安全について

菊地 忠久



【質問】本市における子どもの見守り強化アクションプランの取り組みについて伺う。

【答弁】【市長】対象者は家庭相談員が保護者へ電話し、子どもの状況把握や保護者の悩みなどの相談に応じており、支援ニーズの高い児童には家庭訪問を実施し、見守りに努めています。

対象となる子どもたちは、就学前の乳幼児や小学生が多いため、学校や幼稚園、保育園と緊密に連携し、登校・登園日において、子どもの様子も確認していただいています。
【質問】電話や家庭訪問の頻度を伺う。
【答弁】【保健福祉部長】

子どもの見守りアクションプランが示される以前から、要保護児童対策地域協議会で、児童相談所や警察署、小中学校などとも見守りや支援を継続して行なっていた。

要保護児童の事情に合わせて対応していることから、回数はそれぞれ異なるが、毎週複数回、最低でも月二、二回は電話連絡などをして確認している。

◎学力向上プロジェクトについて

【質問】実施スケジュールなどを伺う。

【答弁】【教育長】昨年度、2回の学力調査の結果の活用に基づき授業改善のPDCAサイクルをおおむね確立したものと考えている。

さらなる充実を図るため、本年度の取り組み

を計画していたが、コロナ禍の拡大により、計画の一部を変更せざるを得なくなりました。

大きな変更点は、中学校区ごとの授業交流会の中止であるが、学力向上においても小中連携は重要である。

このことから、各校の代表者で構成する本市の学力向上推進委員会において、各学校の状況を踏まえながら、これに代わる授業改善策を検討していきたい。

また、現在、児童・生徒が新しい行動様式にも慣れ、落ち着いて学校生活を送っているとの報告を受けており、前年度未履修内容の学習も終えた。

これらを受け、大きな混乱なく学力調査を実施できると判断したことから、6月と12月に実施する予定である。

◎ネット環境支援について

コロナ禍での本市の教育について

佐藤 龍彦



【質問】現在、本市の教育現場において課題となっていることを伺う。

【答弁】【教育長】新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、本市では3月2日より全ての小中学校の臨時休校を実施した。

大切な学校での組織的な学びができなかったことについて、その遅れをいかに取り戻していくかが本市の学校教育の大きな課題であると認識している。

【質問】臨時休校中における就学援助の要保護、準要保護児童生徒援助費補助金、学校給食費の取り扱いを伺う。

【答弁】【学校管理課上席参事】要保護児童・生徒

徒については、年間の支給計画に基づき臨時休校期間中も生活保護費の一部として保護者に支給されている。

準要保護児童・生徒に係る学校給食費については、学校長経由で直接学校給食センターに納付しており、保護者への支給は行っていない。

【質問】休校中の就学援助費補助金、学校給食費を準要保護世帯に支給する考えはないのか伺う。

【答弁】【教育長】就学援助費を受給している家庭の休校期間中の給食費相当額については、現在、教育委員会部局内で支給する方向で検討している。

【質問】児童・生徒、教職員の感染防止の観点から、35人以下学級の復

活を検討してはどうか。

【答弁】【教育長】感染症と学校規模の関係については、過去3年間における季節性インフルエンザなどの感染症に伴う学年、学級閉鎖などの状況について調査したところ、学年、学級閉鎖の実施状況と学級規模、つまり1クラスの人数との間には、有意な相関関係は認められなかった。

しかし、感染症対策とは別に、きめ細やかな指導の充実という観点から、35人以下学級の実現については、都市教育委員会などで引き続き強く国に要望していきたいと考えている。

その他の質問

◎スパッシュランドの休館について

◎本市における新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

新型コロナウイルス対策について

四 電 英 夫



〔質問〕 昨年の台風19号被害の復旧状況と今後の見通しを伺う。

〔質問〕 旅館・ホテル・飲食店などへの支援策として割増し宿泊券や利用券の発行をしてはいいかがか。

〔答弁〕〔建設課長〕 国の災害復旧事業として査定を受けている箇所のうち、市道23カ所は6月中の工事発注手続きを進めている。

〔答弁〕〔市長〕 観光庁では、GoToキャンペーン事業として宿泊、日帰り旅行商品の割引や土産物店、飲食店、交通機関などで利用できるクーポン券の発行を予定しており、宮城県でも小規模宿泊事業者に向けた支援策を計画している。

本市でも2割増商品券を発行し、宿泊施設や飲食店での利用を検討しているところである。

◎台風19号被害の復旧見通しについて

〔答弁〕〔市長〕 5月7日に宮城県より刈田病院と県南中核病院との連携プランが示された。こ

のプランを実行するよう最大限の努力をしていく。

資金面についてはさまざまな形態があるが、引き続き蔵王七ヶ宿町長と協議を重ねて経営の改善を図りたい。

◎学校の長期休校に対する対応について

〔質問〕 授業時間が大幅に短縮されたことによる学習の遅れを、どのように補うのか。

〔答弁〕〔教育長〕 授業時間のみを増やすのではなく、長期休業の見直し、国から示される教育課程の再編方針なども踏まえ、学びの保障に対応していく。

〔質問〕 来年の高校受験対策について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕 長期休業日の短縮、本市教育委員会主催行事の中止により授業時間は定程度確保できた。

また、放課後を活用した個別指導、学習支援員の活用を図るなどの対応をしていきたい。

夏季休業中のプールについて

大 森 貴 之



〔質問〕 配水区域のブロック化について伺う。

〔質問〕 今季、小中学校ではプールでの授業、開放は行わないとのことだが、その管理費の増減を伺う。

〔答弁〕〔学校管理課長〕 昨年度比で約642万円の減となる。

〔質問〕 この余剰金について伺う。

〔答弁〕〔教育長〕 教育現場の新型コロナウイルス感染症対策などに活用し、適正な運用を行なっていくきたい。

◎漏水対策について

〔質問〕 漏水対策の基礎資料となる管路図は整っているのか伺う。

〔答弁〕〔上下水道事業所次長〕 不備な点を確認しながら、速やかに加筆、修正を加え運用して

は極めて重要であることから、在籍期間の延長も含め、今後、技術職員の採用も検討していきたい。

〔質問〕 本市の水道施設は老朽化が激しく、毎年100万mほどの無収水が発生し、都度800万円以上を損失しており、昨年度は修繕費に1千200万円以上費やした。この状態を改善するために、集中して対策を講じていくべきと考えられるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕 施設更新を集中させて行うことは、その後のサイクルコストにおいても更新投資が集中してしまうことが避けられないため、水道事業アセットマネジメントにおいて、持続可能な水道事業の実現に向けて取り組んでいきたい。

〔その他の質問〕

◎夏季体育授業(水泳)の代替えはどのようなになるのか

新型コロナウイルス感染予防と
災害時の避難所について

佐久間 儀 郎



〔質問〕避難所の感染症対策は待ったなしであると考えます。

災害時の避難所は、

感染症が拡大しやすい密閉・密集・密接の3つの条件がそろっていることを政府内でも問題視しており、4月初旬

に地方自治体向けに「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」と留意事項を通知している。

市職員に対する勉強会・訓練を行なったとのことだが、避難所における新型コロナウイルス感染予防の課題はどのようなものがあるのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕

今後、自然災害などに開設する避難所内においては、十分な換気や避難者の間隔の2メートル確保消毒の徹底など、可能な限り避難所の衛生管理の確保に努めていきたい。

〔質問〕市民向けに避難所対応マニュアルを作成すべきと考えますが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕自主防災組織など地域との調整や、限られた施設、備品を活用した運営など、知恵を出し合い、創意工夫しながら進めていく。

また、ホームページや広報しろいしなどで市民に周知していきたい。

〔質問〕新潟大学の榛沢特任教授は「床に落下したウイルスを含んだ飛沫を吸い込む危険があり、段ボール製簡易

ベッドなどを用意することが望ましい」と指摘している。日本型の床に雑魚寝では、飛沫感染のリスクが高すぎることである。本市では、ある程度の備蓄数があると推察するが、段ボール製簡易ベッドを実際に避難所運営で使用することについて、所見を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕東北カーボン株式会社と災害時における物資調達に関する協定を締結していることから、段ボールベッドの緊急調達を要請することができ

る。現在、備蓄品は20基あるが、必要とする備蓄保管にはスペースを要するため、中長期の避難所開設を行うとされた場合には、協定による物資調達を考えている。

〔その他の質問〕

◎社会福祉協議会の運営について

◎社会福祉協議会の運営について

意見書

定例会最終日（6月19日）、議員提案として次の意見書4件が上程されました。

提出議員による提案理由説明の後、質疑を経て、採決の結果、提案された議案はすべて賛成多数で可決され、意見書は関係機関に送付されました。

◎最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書

◎看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

◎介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書

◎介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

第441回 市議会定例会（6月19日）

意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			大森 貴之	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	大野 栄光	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	高子 秀明	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
議提第3号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書		原案決	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
議提第4号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書		原案決	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
議提第5号 介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書		原案決	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
議提第6号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書		原案決	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

5月臨時会

第440回市議会臨時会が、令和2年5月22日に開かれ、市長提出議案8件を審議した結果、令和2年度白石市一般会計補正予算(第2号)については修正可決、それ以外の議案については承認されました。

各議案の内容と審議結果は次のとおりです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)
(白石市市税条例等の一部を改正する条例) **承認**

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第4号)
(白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例) **承認**

この2条例は、令和2年3月31日に地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正したものです。

◎専決処分の承認を求める

主に内容は、介護保険災害臨時特例補助金の額の確定により、国庫補助金を増額すると

ことについて(専決第5号)
(令和元年度白石市一般会計補正予算) **承認**

主な内容は、財政調整基金の積立金などを増額する一方、事業費確定によりプレミアム付商品券事業費や地方道路整備事業費などを減額したものです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第6号)
(令和元年度白石市国民健康保険特別会計補正予算) **承認**

主な内容は、予備費を増額する一方、出産育児一時金、特定健康診査等事業費を減額したものです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第7号)
(令和元年度白石市介護保険特別会計補正予算) **承認**

主な内容は、介護保険災害臨時特例補助金の額の確定により、国庫補助金を増額すると

もに、財政調整基金繰入金を減額したものです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第8号)
(令和元年度白石市下水道事業会計補正予算) **承認**

主な内容は、収益的収入及び資本的収入において、他会計補助金を減額したものです。

◎専決処分の承認を求めることについて(専決第9号)
(令和2年度白石市一般会計補正予算) **承認**

主な内容は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、特別定額給付金事業、子育て世帯臨時特別給付金給付事業に要する費用を増額する一方、予備費を減額したものです。

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第2号) **修正可決**

主な内容は、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金、令和元年台風19号関連の緊急浚渫工事費など、1億7千835万2千円を増額するものです。このうち公立刈田綜合病院経営形

態調査委託料330万円については、削除する修正動議が沼倉啓介議員及び伊藤勝美議員の発議により提出され、提案理由説明の後、質疑討論を経て、採決の結果、賛成多数で修正動議が可決されました。

【市当局の提案理由】

公立刈田綜合病院は、経営形態の議論が進んでいない状況であるが、経営改善は必要であり、これからも持続可能な病院として存続させるためには、あらゆる方策の検討・調査は必要と考える。

その一つの方策として、86.7%の負担割合を持つ本市が当事者意識を持ち、率先して経営形態の調査を実施していきたいことから、今回、予算を計上するものである。

【修正動議の提案理由】

公立刈田綜合病院は、白石市・蔵王町・七ヶ宿町で構成される白石市外二町組合で運営されており、国の重点支援区域としてみやぎ県南中核病院との連携も進んでいる。

病院経営については、白石市

外二町組合議会で議論することで、本市の予算に同病院の経営形態調査委託料を計上することは法に反しないとしても越権行為にあたり、今後の連携協議への影響も危惧される。

経営形態の議論は、白石市外二町組合の組織決定事項として進めるべきであると考え、ことから、修正動議を提出するものである。

【討論】 反対 佐久間儀郎

賛成 高子 秀明

平間 知一



修正動議とは？

定例会・臨時会では、市長から議案(条例・予算など)が提出され、本会議や予算審査特別委員会常任委員会などで審査し、議決を行います。議員(委員)は議案の内容に対し、必要に応じて議案を修正することができ、議案の修正を行う場合は、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することになります。

第440回 市議会臨時会（5月22日）

意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			大森 貴之	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	大野 栄光	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	高子 秀明	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第38号議案 令和2年度白石市一般会計補正予算(第2号) に対する修正動議		可決	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない
 修正動議の内容：衛生費のうち保健衛生総務費として計上されている経営形態調査委託料330万円を削除するもの

人事

6月定例会において、次のとおり選任・任命することに同意しました。

〔固定資産評価員〕

古山 光春 氏

〔農業委員会委員〕

（任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日）
保科 清八 氏

半江 幸男 氏、江戸 千佳 氏、佐藤 良夫 氏、吉川 淑子 氏、佐藤 俊雄 氏、佐藤 敏文 氏、木須 敏也 氏、高橋 和也 氏、押野 一郎 氏、阿部 祥夫 氏、齋藤 重雄 氏、村上 上さ 氏、保科 清八 氏

議員表彰

第96回全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

◎一般表彰

大町 栄信 前議員
（副議長在職4年以上）

9月定例会は、9月3日(木)午前10:00開会予定です。

定例会は、市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行なっています。本会議などをライブ中継や録画映像で視聴できます。

●5月臨時会の傍聴者数 2人 ●6月定例会の傍聴者数 25人
 ●中継・録画視聴者数 3,889人

議会費の一部を新型コロナウイルス対策に！
 行政視察旅費を市に返還

白石市議会では、本年度分の議会費33万8千円を市に返還し、その返還分を新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う経済対策などに充てていただくため、5月18日、小川議長・澁谷副議長が議会を代表して山田市長へ申入書を提出しました。

併せて、6月定例会に一般会計補正予算案として減額計上し、原案可決しました。

〔返還額の内訳〕
 ○政務活動費(全額) 108万円
 ○常任委員会行政視察旅費(全額) 226万8千円

※政務活動費は、議員の調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として交付されるもので、本市では議員一人あたり月額5千円となっています。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大により、世界中が大混乱に陥っています。

本市においても3月から各種行事、イベントが縮小・中止となりました。

現在まで、本市では感染者は出ておりませんが、安心できる状況にはありません。一日も早い収束を願うばかりです。さて、市議会では6月定例会において、感染拡大防止のため傍聴者の受け入れ人数を制限させていただきました。コロナ禍においても、市民の皆さまの声を大切にし、より議会を身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

議会広報委員会
 佐藤 龍彦

議会広報委員会 委員

委員長 四竈 英夫
 副委員長 平間 知一
 委員 大森 貴之
 委員 佐藤 龍彦
 委員 伊藤 勝美
 委員 高橋 鈍斎
 委員 高子 秀明
 委員 森 建人
 委員 角張 一郎